

## 「神社テラス」 都市部神社境内ワーケーションの可能性

「境内」は神域であり、それゆえ都市部に位置する寺社であっても、境内に入ると人々はある種の非日常性を感じ、それは「VACATION」の概念に通じるのだと思う。

ただ、神域は境内にだけ留まるものでもない。柴又帝釈天、鶴岡八幡宮、北野天満宮など、参道を擁する寺社では、神域は「境外（境内の外）」にも拡張していると捉えるほうが妥当で、地域の観光地化と不可分の関係にあると思う。

今回の提案では、地元に着した都心の寺社においても、その神域をほんのちょっと拡張し、「日帰りのWORKCATION」の提案を行う。

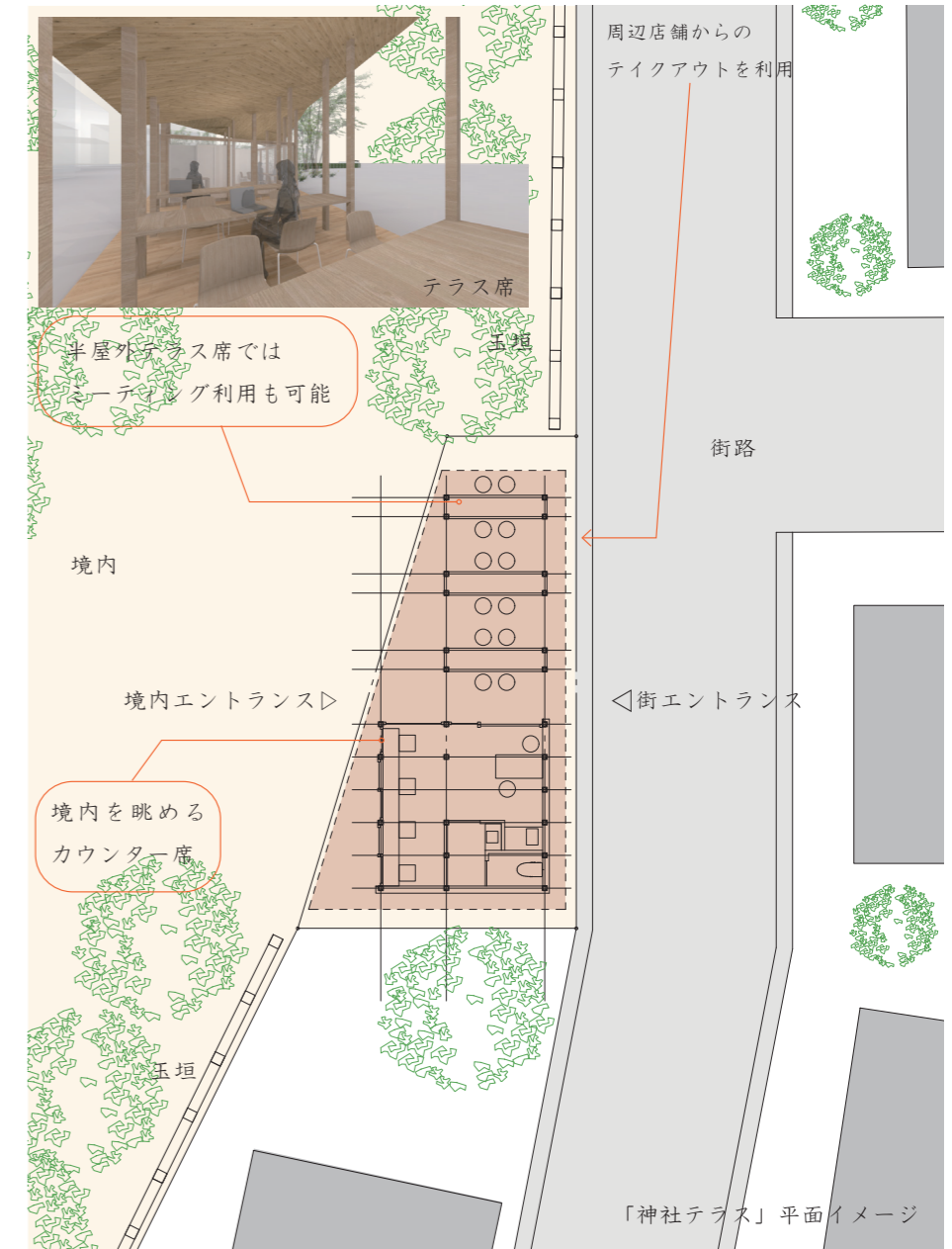
ほんのちょっとの拡張は、「境内」と「境外」の「あいだ」に設定させていただいた。都市の空地であり、静謐な空間としての在り方が求められる神社の境内の周囲は、都市部でのワーケーションの可能性を秘めている。



### ● ワーケーションの場所としての都内神社の分析

- ・静謐な屋外空間 集中して物事に取り組むことができる
- ・周囲に茶店や土産物店などがあり、食事や飲み物のテイクアウトが利用できる。
- ・都内の神社は、山間部の崇拝の対象地や修験場などの神社と異なり、街・村の鎮守として比較的交通の便の良いところに位置するところも多く、日帰りで訪れることも可能であり、宿泊などが不要で1時間単位でのワーケーションの利用が見込める可能性が高い。

境内の神域を拡張し、街と境内両方の要素をもつ、境内に寄り添うワーケーションプレイス「神社テラス」を提案する。



### ● 境内とまちのあいだに屋根をかける

「神社テラス」は、まちと神社境内のあいだに位置する。

境内周囲の建物のリノベーション、改築、または境内境界の玉垣の改築の際に計画を行うことを想定する。

境界に軒下空間が生まれ、軒下に人が訪れ、仕事をする新しい神社周囲の風景が生まれる。

利用者は、境内を眺められるデスクを時間単位でレンタルする仕組み。神社社務所で受付する。予約はWEBサイトで行う想定。周囲の茶店・商店からのテイクアウト持ち込み可能とする。飲食の販売提供では行わない。建設時の設備関係のインシャルコストを抑えるとともに、周辺への波及効果を期待する。

